

赤平市の子どもたちの学力の状況

～平成 29 年度標準学力検査 (NRT) の結果報告～

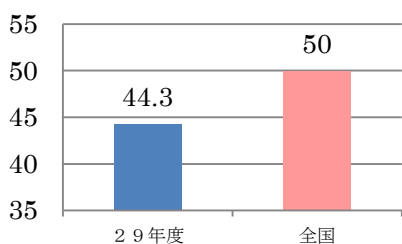
平成 29 年 1 2 月
赤平市教育委員会

本年度も赤平市の児童生徒の学力の状況を客観的に把握し、今後の改善方を明らかにするため、市内の全ての小・中学校の小学校第 2 学年から中学校第 3 学年で標準学力検査 (NRT) を実施しました。検査の結果は各家庭に個票として配布されています。

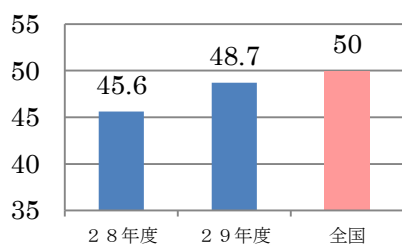
ここでは、赤平市全体の平成 27～29 年度の経年推移について、全国の偏差値平均 50 を基準とした相対値でお知らせします。

小学校

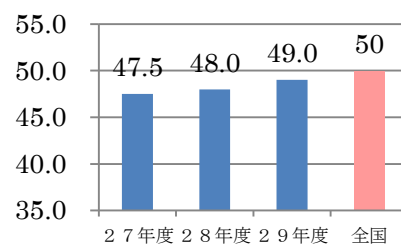
2 学年国語



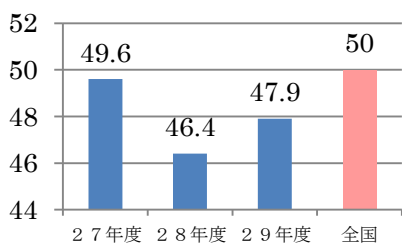
3 学年国語



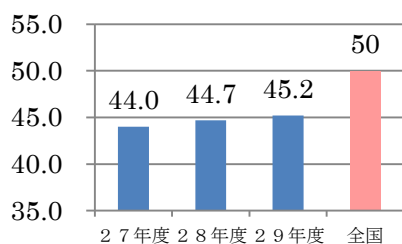
4 学年国語



5 学年国語



6 学年国語

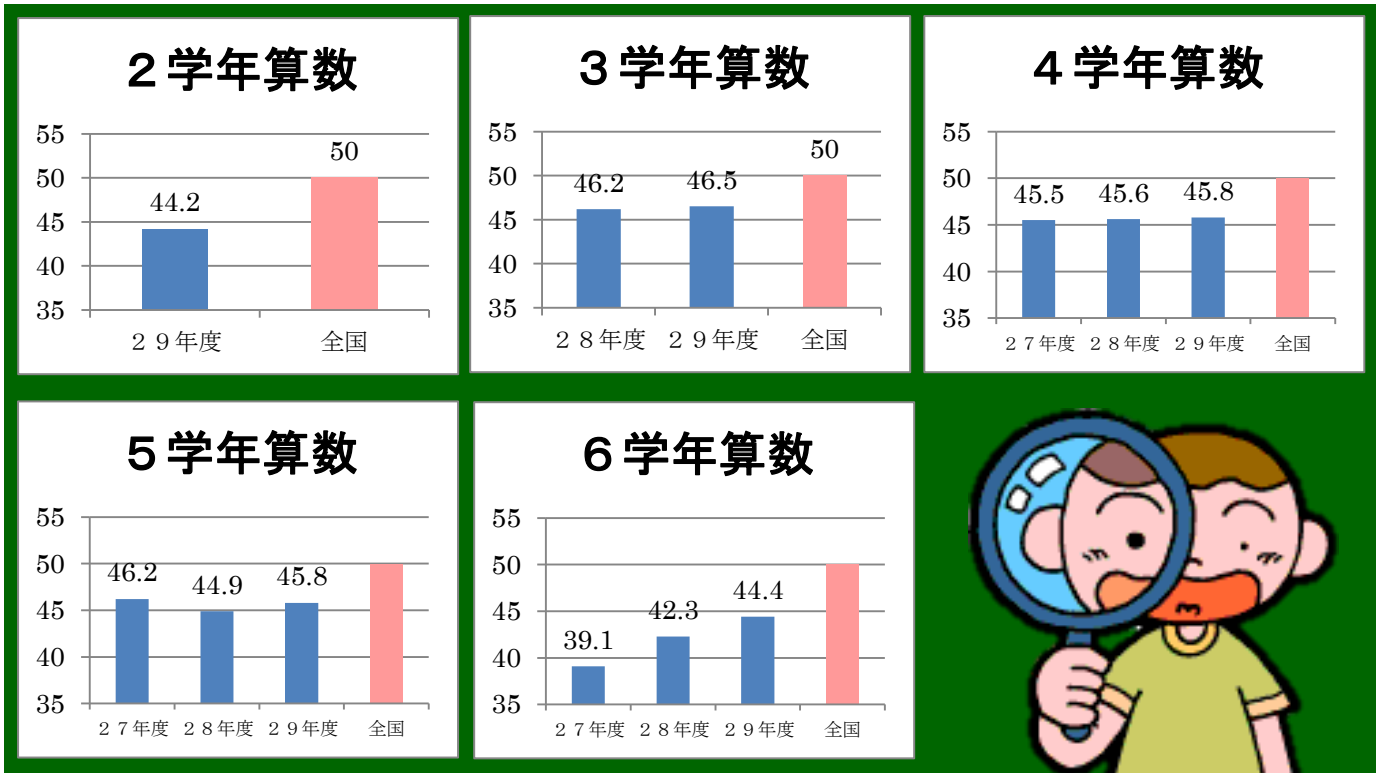


注 1：NRT は第 2 学年から行うため、本年度の 2 学年は本年度だけ、3 学年は昨年度と本年度の 2 年間の結果になっています。

注 2：グラフは、同一学年の推移を表しており、例えば 4 学年であれば、2 学年時から本年度までの推移を表しています。

【本年度の検査結果】

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
2 学年		説明的な文章を読むこと 文学的な文章を読むこと
3 学年	伝わるように話すこと 説明的な文章を読むこと	
4 学年	目的に応じて適切に話すこと 話題に沿って話し合うこと 目的に応じて構成を考えて書くこと 文の中心やつながりに注意して書くこと 指示語の理解	文学的な文章を読むこと
5 学年	話の中心に気を付けて聞くこと 辞書を活用すること	目的に応じて話すこと
6 学年		複合語や正しい仮名遣いを知る 漢字についての理解、読み・書き



【本年度の検査結果】

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
2 学年		
3 学年	はこの形	かけ算の式
4 学年		
5 学年		いろいろな図形、平行・垂直
6 学年		奇数・偶数、約数・倍数 面積

国語、算数とも、全ての学年で基礎学力が身に付いてきています。
算数の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が課題です。

○ グラフをご覧いただいておりますとおり、各学年とも、この3年間の学びで、基礎学力が高まってきています。特に、国語は、全国平均までもう少しという段階になってきている学年もあります。

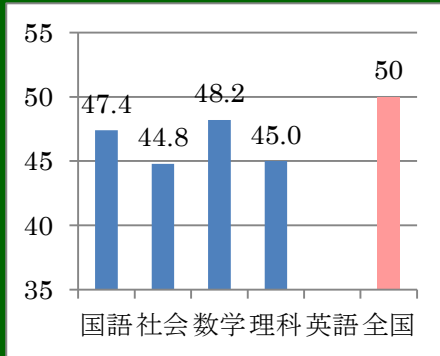


○ 一方、算数は、各学年とも、全国平均と比較して5ポイント程度の差があります。

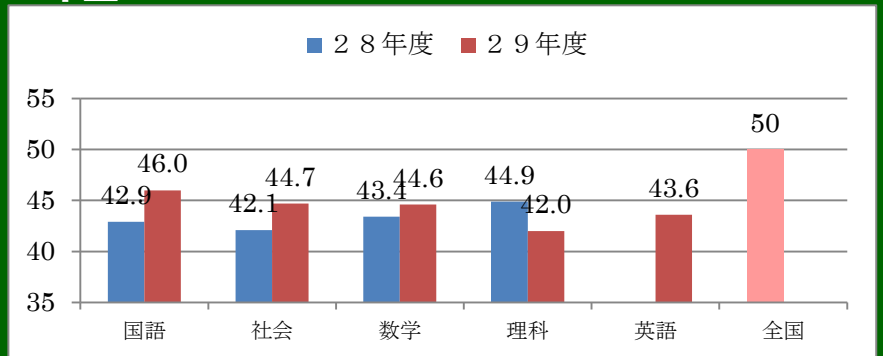
算数は、下学年の学習が上学年の学習に系統的・発展的につながっていく教科であり、下学年で学んだ内容が、学年が上がってもはがれ落ちないように、定期的に復習したり、繰り返し学習したりする必要があります。

中学校

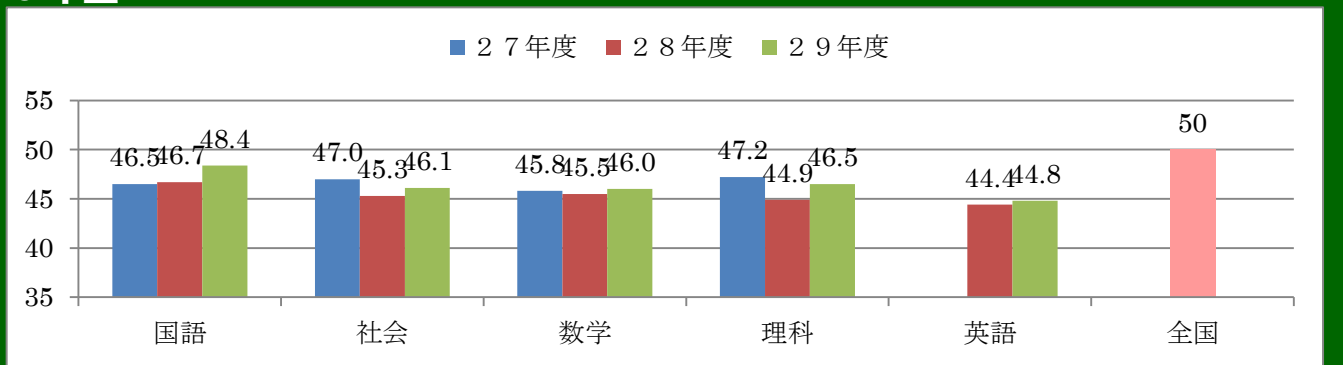
1 年生



2 年生



3 年生



注1 英語は第2学年から実施しています。

注2 グラフは、同一学年の推移を表しており、例えば3学年であれば、1学年時から本年度までの推移を表しています。

1 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語	意図を考えながら聞くこと 漢字の読み・書き、熟語の構成	
社会	日本の国土と世界の主な国々	日本の気候と暮らし 武士の世の中
数学	小数のしくみとその計算 立体図形	文字を用いた式
理科		

2 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語		話題をとらえ話し合うこと
社会		アジア州 世界の古代文明と原始時代の日本
数学		正の数・負の数 1次方程式 平面図形 比例と反比例
理科		水溶液 生物の観察 火山活動と火成岩 地震

英語		
----	--	--

3 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語	構成や展開に注意して聞くこと 目的に沿って話し合うこと 課題を決め構成を工夫し書くこと 古典的な文章に親しむこと 文の成分、語句や語彙の理解	
社会	地図の見方と身近な地域 日清・日露戦争と国際関係	中国・四国・九州地方 ヨーロッパ人の来校と天下統一
数学		連立方程式
理科	日本の気象	
英語		考えや気持ちを正しく伝える 基本的な単語や英文を書く 適切な表現を用いて書く

**赤平市全体として中学校での学習の成果が現れています。
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が課題です。**

- 教科によってややバラツキはあるものの、2学年、3学年とも、中学校での学習の成果が現れてきています。全国平均に近付いてきている教科もあります。
- 一方、全国平均と比較して5ポイント程度差がある教科が多く、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることが、学校や学年を問わず、市全体の課題です。

赤平市教育委員会は、以上の結果を踏まえ、

- ・ ほっかいどう「チャレンジテスト」などの学力向上推進事業の実施
- ・ 教師の指導力を高める校内研修の充実
- ・ 家庭学習の手引を作成するなど、家庭との連携による家庭学習の充実

を学校全体で推進するよう指導を強化します。

また、赤平市学生ボランティア活用事業やICT機器の充足、
学校支援員等の人的環境の充実等、教育条件の整備を通じて、
各学校の学力向上に向けた取組を引き続き支援していきます。

